

オアシス

医療法人 済恵会 広報誌

2021年1月

NO.91



謹賀新年



●2-3P 謹賀新年

～今年のキーワードはチームワークです～

理事長 須藤 英仁

●6P クリーンパーティション導入

●7P 医事課よりお知らせ

～電話再診について～

●4-5P 逆風を追い風に

副院長・看護部長 佐藤 明美

医療法人
済恵会

須藤病院

安中市安中3532-5

TEL 027(382) 3131

介護老人保健施設

めぐみ

デイサービス

さくら

居宅支援事業所

こかげ

訪問介護サービス

ひだまり

謹賀新年

今年のキーワードは“**チームワーク**”です



医療法人済恵会 理事長 須藤 英仁

明けましておめでとうございます。昨年はコロナ禍への対応に追われ大変な年でしたが、何とか乗り切ることができました。しかし国内の感染者数は収まることなく、1月7日には再び緊急事態宣言が首都圏を中心に発せられました。

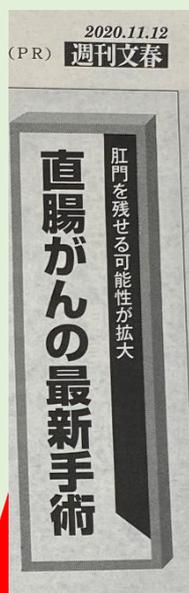
済恵会グループ全体でもできる限りの対策を講じているところです。病院外来には20台以上の空気清浄機を導入いたしました。また昨年3月以来発熱外来、PCRセンターを設置し一般患者さんとの分離、速やかなPCR検査の実施を心がけております。安中市では市民の皆さんの協力により感染者が少なく、病院としても日々の診療を変わりなく続けることができしておりますが、油断は禁物です。

さて今回のコロナ禍で強く感じたことはチームワークの重要性です。発熱外来、PCRセンターの仕事は医療従事者の感染予防が重要です。発熱外来の業務中は一切他の仕事はできません。また、肺炎の患者さんが入院した場合も担当看護師はPCR検査の結果がでるまでは、他の入院患者さんとの接触ができません。少ない人手の中、病院全体でチームを組み他の業務を滞りなく進めなくてはならないのです。

これは地域医療にも欠かせません。この地域で新型コロナウイルス感染症が発生しクラスターが疑われPCR検査の実施が必要となった場合は、当院からも応援に行かなければなりません。当院ではICD(感染予防医師)として泉医師、またICN(感染予防看護師)として川合看護師が活躍しております。2人を中心にこの地域全体にも協力を行っております。

感染予防には地域の病院、診療所、介護施設に至るまで早期に感染者を見つけ周辺に二次感染の患者さんがいないか速やかに検査を実施する必要があります。地域全体のチームワークが求められているといっても過言ではありません。ぜひ安中地域全体で取り組んでいきたいと考えております。

チームワークは新型コロナウイルス感染症だけに留まるものではありません。通常の業務においても同じことが言えます。手術中は手が離せません。複雑な検査中もちろん手が離せないのです。病院では命に係わる状況の患者さんが最優先です。他の患者さんには他のスタッフが代わって対応できれば、患者さんにとっては相当な助けになるはずです。自分の仕事だけでなく、ほんの少し周りを思いやることがチームワークの基本です。今年はこんな行動規範を考え実行してまいります。本年もどうぞよろしくお願い致します。



週刊文春 3092 令和2年11月12日号 P.74

『直腸がんの最新手術』

の特集ページに当院の紹介記事が掲載されました。



医療法人済恵会

須藤病院

最新の3D腹腔鏡を使った質の高い大腸がん手術を心掛けます。大腸がんの診断(大腸カメラ)から手術や抗がん剤、治療後のフォローまでを行う完結型の診療体制で、地域の皆様にとって安心かつ安全な医療の提供を目指します。

〒379-0116

群馬県安中市安中 3532-5

TEL: 027-382-3131

<http://med.wind.ne.jp/sutoh-hp/>

群馬県



消化器外科 担当医師

すとう ゆうじん

須藤 雄仁

医学博士

日本外科学会認定 外科専門医

日本消化器外科学会認定 消化器外科認定医

～ 逆風を追い風に ～

副院長・看護部長

佐藤 明美



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

さて昨年はまさに新型コロナウイルス感染症一色となってしまいました。年末からの全国的な感染拡大は、今後も注視していかなければいけません。皆様には受付でのマスク着用確認、体温計測、症状確認、発熱外来へのご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。また入院患者さんにはマスク着用、面会制限へのご理解ご協力に対しまして重ねてお礼申し上げます。そして皆様にとりまして今年が幸多い一年になることをお祈りいたします。

昨年当院では感染管理認定看護師の川合を中心に、職員一同院内感染対策に取り組んでまいりました。特に医療従事者は感染防止のため自粛を強いられ、先の見えない状況にそのストレスは計り知れないものだったと思います。それでも通常診察を継続するために工夫や、改善を行ってまいりました。また発熱外来の運用も職員一同の協力があり継続することができました。その成果が、現在まで院内感染がないことだと思えます。職員の皆さんの努力には心から感謝します。しかし、ウイルスは目に見えませんし安中市内での感染者も発生しています。いつ我が身に起こらないとも限りません。今後も感染対策の継続と、有事に対する備えを十分にしておく必要があると思えます。当院では職員及び家族の体調不良時の報告と対応、それに伴う勤務調整について基準を周知し感染拡大防止を推進します。感染を最小限に抑え込むには、日頃の行動にかかってきます。気が抜けない毎日ですが、全員で前向きに取り組むことが一番の対策になると思えます。

また昨年は木村診療看護師(89号オアシス掲載)を迎えることができました。木村PAが医師の指示の下で医療行為を実施することで、患者さんに必要な医療行為を早期から提供することができます。そのことは他の看護職員への良い刺激となっています。専門的な知識・技術を修得することは、看護師としてステップアップになります。そして目指す看護師像が見えてくることは、仕事に対する意欲向上に繋がるのではないのでしょうか。看護職員の皆さん、患者さんや地域の方から頼りにされる看護師になるために、自分がどんな知識・技術を身に付けるべきか自ら考え行動できる自立した看護師になりましょう。当院院長は看護師教育にとっても理解があります。約1年に及ぶ認定看護師教育の受講も、全面的に支援しています。更に来年度から特定行為研修指定医療機関(院内で医師の指示のもと医療行為が実践できる看護師を育成する)となることを目指し準備をしているところです。看護職員の皆さんが上がるステージの準備はできています。更なる高みを目指そうではありませんか！

看護の仕事は、多岐にわたり日々求められることが変わります。はっきり言って大変で責任のある事ばかりです。しかし一つ一つのことを確実に行うことが、何より安全で安心な看護を提供することになると思います。そしてその結果、患者さんから信頼を得ることができると思います。コロナ禍だからこそ、入院対応や手術患者の管理を確実に行う必要があります。私は看護雑誌の「有能で(自分自身で考え、判断し、行動し、結果に責任を持つ)思いやりのある、物静かな態度」という言葉を読んでとても共感しました。今こそ看護師一人一人が責任を持って看護を提供し、大変な時を乗り越え飛躍する一年にしましょう。

これからも皆様のすぐそばにあり、頼りになる病院であり続けるよう邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

クリーンパーティション(高性能空気清浄機)

院内各所に多数導入

院内の感染対策強化として、12月18日より院内各所に高性能HEPAフィルターを搭載した、AIRTECH社製のクリーンパーティション（高性能空気清浄機）が導入されました。

※この空気清浄機により室内の汚染された空気は、清浄化された無菌の空気となり排出されます。

寒い季節となり長時間の窓開け換気がしにくくなっている時期ではありますが、今回導入された空気清浄機を換気の補助的に使用することで、3密回避のひとつとしての「換気」が適切に行えるようになりました。



医事課よりお知らせ

電話再診についてのご案内

～『いつもの薬』の処方出来ます～

新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、慢性疾患を有する定期受診患者(かかりつけ患者)に対して、電話や情報通信機器を用いた診療が可能となりました。

当院におきましては、電話再診による定期処方を現在行っております。

注意事項として以下の項目をご確認の上お問い合わせください。

- **定期処方されている薬**に限り処方の受付をしております。
- **主治医の外来診療が行われている時間帯**にお電話でご依頼ください。
- ご依頼された場合、主治医より**折り返しの電話**を致しますが、診療の都合上、折り返しの電話の時間を明確にはお伝え出来ませんのであらかじめご了承ください。
- 医師の判断により、来院をお願いする場合がございます。
- 会計と処方薬の受け取りは、同日午後の時間帯※に保険証と診察券を必ずご持参のうえお越しください。

※受付時間 月～金曜日 (15:00 ～ 18:00)

土曜日 (15:00 ～ 17:00)

